

保健体育科学習指導案

日 時 平成24年11月21日(木) 5校時

場 所 岩泉町民会館

学 級 2年A組

男子18名 女子16名 計34名

授業者 佐藤 聡哉

1 単元名 第2学年 ダンス「現代的なリズムのダンス」

2 単元について

(1) 教材について

本単元では、小学校で学んだ低学年の「リズム遊び」、中学年および高学年の「表現運動」、そして第1学年で学んだリズムに乗って全身で踊ることを踏まえて、イメージを捉えたり深めたりする表現や踊りを通じた交流や発表について学習する。

本単元の学習については、「感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージをとらえた表現や踊りを通じた交流ができるようにする。また、ダンスの学習に積極的に取り組み、仲間のよさを認め合う事などにも意欲を持ち、健康や安全に気を配るとともに、ダンスの特性、踊りの由来と表現の仕方などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫することができるようにすることが大切である。」と学習指導要領に示されている。

このため、本単元は、積極的な取り組みによってみんなで踊ることの楽しさを味わうこと、イメージを捉えてダンスを踊りそれを交流すること、仲間のよさを認め合うこと、課題に応じた運動の取り組み方を工夫することなどを中心に構成する。

(2) 生徒について

生徒は保健体育の授業に興味と関心を示している。ダンスに関わっては、本校の体育祭の集団演技において全校で取り組んでおり、意欲がみられる。仲間と関わって楽しく踊ったことや、人気の曲を踊ったということに満足感を得ており、体全体を動かした踊りに爽快感を感じた生徒が多い。また、新たに様々な曲で踊ってみたいという意欲もあり、ダンスの授業に興味・関心が高い生徒が多い。

一方、新しい技などを学習していく時には、下半身と上半身との連動が足りなかったり、「大きな動き」にばらつきがあったりする様子が見られる。また、周囲の動きを待つことで取り掛かりが遅くなってしまうこともあるのでそういった部分を克服しつつ、単元の目標へと迫っていききたい。

(3) 指導について

本単元の指導を展開するにあたっては、第1学年で学習したリズムに乗って全身で踊ることについて関連をもたせ、みんなで踊ることの楽しさや喜びを味わわせたい。そのために、興味のある楽曲を用いたり、開放的な雰囲気を作ったりできるようにグループ活動等を取り上げながら指導していきたい。また、より体全体を動かしたり、表したい感じを素直に表現したりできるように、相互評価の機会を設け、客観的な意見を取り入れることの良さ、互いに関わって動作を高めていくことの楽しさ、仲間の運動に積極的に関わることの喜びを感じられるような指導を行いたい。また、家庭学習を通じて普段の生活の中からダンスに活かせるような素材を発見させ、それを楽しみながらダンスの中に取り入れる活動を通して、自らのアイデアでリズムに乗ったダンスを作り上げ、その踊りを楽しむ機会を作っていきたい。

3 単元の目標

(1) 運動への関心・意欲・態度

・ダンスに積極的に取り組むとともに、良さを認め合おうとしている。

(2) 運動についての思考・判断

・発表の場面で仲間の良い動きや表現などを指摘している。

(3) 運動の技能

・リズムの特徴をとらえ、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。

(4) 運動についての知識・理解

・表現の仕方について学習した具体例を挙げることができる。

4 単元の学習（評価規準）と家庭学習の内容

時	主な学習内容 【 】はサイクルのパターン	運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
1	学習の進め方や現代的なリズムのダンスの特性を知る。 【ア→Ⅱ→1→A】	ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。			ダンスの特性について、具体例を言ったり書いたりしている。
家	・踊りの歴史について学んだことをまとめる。【知識・理解】【復習】				
2 3 4	気に入ったリズムに乗って全身で踊る。基本的な動きを覚える。 【ア→Ⅱ→4→A】		自分の課題の解決を目指して練習方法を選んでいる。	リズムに乗って、相手と対応するなどしながら踊ることができる。	
家	・授業で学んだ基本的な動きについて、そのポイントをまとめる。【知識・理解】【復習】				
5 6 7	まとまりをつけて踊る。選んだ曲に、既習の動きとオリジナルの動きを取り入れて踊る。 【ア→Ⅱ→4→A】		課題の解決を目指して、練習や発表の仕方を工夫している。	リズムに乗って、仲間と関わり合いながらまとまりのある動きを踊ることができる。	
家	・発表会に向けてダンスの練習を行う。【技能】【復習】				
8	発表会を行う。 【ア→Ⅱ→4→A】	ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。	仲間の良い動きや表現などを指摘している。		
家	・単元を終えての感想をまとめる【関心・意欲・態度】【復習】				

5 研究主題と本時の授業とのかかわり

研究主題 「確かな学力の育成 ～授業と家庭学習のサイクル化を通して～」

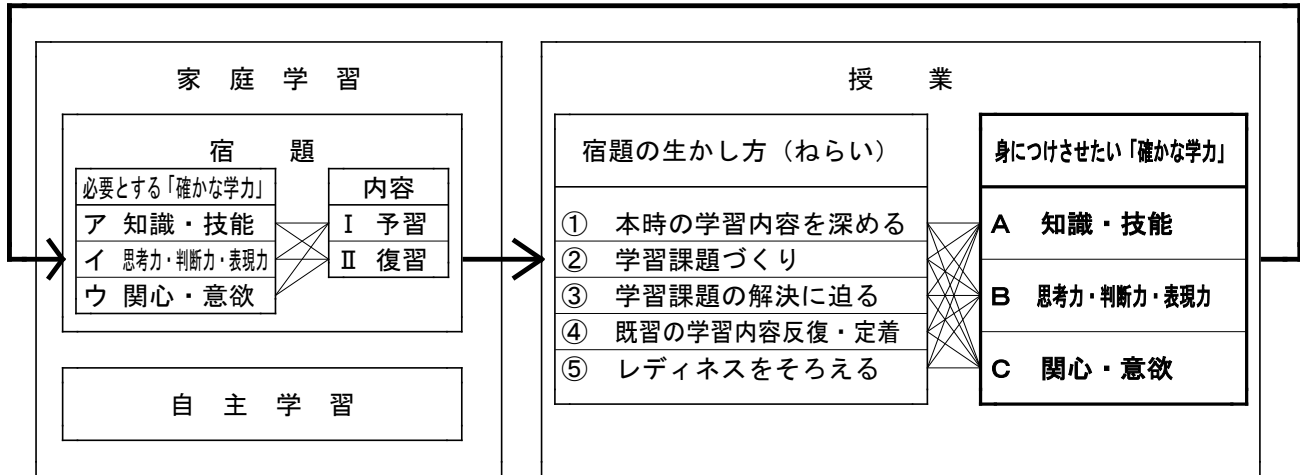


図 岩泉中における授業と家庭学習の具体的なサイクル

(1) 本時で身につけさせたい確かな学力

A 知識・技能

(2) 本時の授業と家庭学習のサイクルパターン

ア→II→④→A

(3) 授業構想

この授業では、「リズムの特徴をとらえ、」変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができるようになることをねらいとしている。本時は発表会に向けて自分のグループのダンスを組み立て、練習し、表現の工夫をする時間である。前時では、技能を定着させるために、その時点までで決まっているダンスの練習をする宿題を提示した。本時の学習課題は「リズムに乗って仲間と関わり合いながらオリジナルダンスを完成させよう」である。完成に向かって表現を工夫して決定した部分から定着して積み重ねていくことが大切なので、宿題は「④既習の学習内容反復・定着」をねらいとする。また、復習として次時の発表会へ向けて技能の定着を目指す宿題を提示する。

したがって、上記の「岩泉中における授業と家庭学習の具体的なサイクル」にあてはめると、左から「ア→II→④→A」となる。

宿題では、授業で定着しきれなかった技の習得を目指し、より大きな動き、リズムに乗った動きを身に付けさせたい。そして、定着した技を多くしていくことで、選択肢を増やし、曲に取り入れるダンスが表現豊かに、グループごとのアイデアが生かされるものにしていきたい。

発表会へ向けてグループのカラーや実態に合わせてどのような表現を選択すべきか考え、その習得のための練習を工夫し、どのように見えるかを意識していくことを重要視したい。そして、仲間と関わり合いながら全身を使って自分を表現できるようになることをねらいたい。

6 本時について (7/8)

(1) 目標

- ① 課題の解決を目指して、練習や発表の仕方を工夫している。(運動についての思考・判断)
- ② リズムに乗って、仲間と関わり合いながらまとまりのある動きを踊ることができる。(運動の技能)

(2) 評価規準

観点	評価規準	努力を要する生徒への手立て
運動についての思考・判断	課題の解決を目指して、練習や発表の仕方を工夫している。	動作における体の各部の位置などを具体的に示す。発表方法を例示する。
運動の技能	リズムに乗って、仲間と関わり合いながらまとまりのある動きを踊っている。	全身で踊ることができるように、運動例を示し、その動きをどこに加えるか考えさせる。

(3) 展開

段階	学習活動 (宿題関連は□)	指導上の留意点	評価規準
導入 10分	<ol style="list-style-type: none"> 1 あいさつをする。 2 準備運動を行う。 3 学習課題を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習のダンスやリズムのある動きを取り入れて、リラックスして本時への意欲を高められるよう導いていく。 	
	リズムに乗って、仲間と関わり合いながらオリジナルダンスを完成させよう。		
展開 35分	<ol style="list-style-type: none"> 4 前時までの踊りを確認する。 5 新しい動きを取り入れ、まとまりを完成させる。 <ol style="list-style-type: none"> ① 動きをどう取り入れていくか検討する。 ② 動きを決め、発表会の練習を行う。 6 ワークシートに記入し、感想の交流をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい動きと安定した動き意識させ、繰り返し行う。 ・発表会に向けて位置の移動や仲間との関わりも意識させる。 ・自分たちの動きを映像で確認し、修正点、課題は何か気づき、それを克服するための工夫を考えさせ練習につなげさせる。 ・本時で学習したこと、学んだ動きについてまとめ、次時に活かしていく。 	【運動の技能】 ・リズムに乗って、仲間と関わり合いながらまとまりのある動きを踊ることができる。(観察) 【運動についての思考・判断】 ・課題の解決を目指して、練習や発表の仕方を工夫している。(学習プリント・観察)
まとめ 5分	<ol style="list-style-type: none"> 7 次時の宿題・学習内容を確認する。 8 あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の発表会へ向けての練習を宿題とすることを告げる。 	